

令和元年度 学校マネジメントシート

学校名 (飯野高等学校 定時制)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		充実した多文化共生教育やキャリア教育をとおして、多様な学習ニーズを有する生徒たちが自信と誇りをもって社会で生きる力を養成し、生徒たちが将来、社会の構成員として生活し、これからの新しい社会を創造していく力を育むことのできる学校。
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> 自分から大きな声で挨拶をし、時間や期限を守り、適切な言葉遣いができるなど、社会人として必要な素養を習得することができる生徒。 漢字能力、計算能力、英語能力や外国人生徒については日本語能力など、社会生活を営むうえで必要な基礎学力を習得することができる生徒。 自他を大切にす豊かな人権感覚と自己有用感を持ち、人間関係形成能力の高い生徒。
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> 高い専門知識・能力と指導力を有し、情熱を持って教育活動に取り組み、生徒の意欲や向上心を喚起できる教職員。 学習指導や生徒指導等の教育活動において、ねばり強く生徒に接し、理解に努め、一人ひとりの生徒にきめ細かく対応できる教職員。 豊かな人権感覚を持ち、命の大切さを様々な学習活動の場で生徒に教え導くことのできる教職員。 新たな取組に積極的にチャレンジする向上心を持ち、他の教職員と協力して学校経営や教育内容の向上を目指すことができる教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>生徒: 学力向上(日本語能力を含む。)と進路希望(進学・就職)を実現する学校。 保護者: 学校からの丁寧な情報発信などによって学校と家庭が連携を密にする学校。 地域社会: 定職を持ち地域社会の担い手となる人材を育成する学校。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>中学校: 不登校経験者や外国人生徒など多様な生徒の受け入れと中学高校間の連携強化。 事業所: 基礎学力の向上と社会人マナーの習得。</p>	<p>中学校: 目的意識を持ち、学校生活を適正に行うことのできる生徒の育成。 事業所: 在学中の雇用と卒業時の正規雇用。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒会行事の生徒満足度の高さから、生徒会役員による行事の充実を感じる。 ●行事を通じてコミュニケーションが苦手な生徒が人と接することが豊かになっていることに成長を感じる。 ●外部人材を活用した取組が充実しているのはすばらしい。 →外部人材を活用した継続的な取り組みなど、一定の成果は出ている外部人材の活用によって、生徒の成長につながる取組を次年度も継続、推進していく。 	

(4) 現状と課題	教育活動	<p>教職員の不断の努力によって全体として落ち着いた良い雰囲気になってきている。しかし、近年、多様なニーズや課題を抱える生徒は増加傾向にある。そのような中、さらなる教育活動の充実に向けて、以下の取組を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 社会生活を営むうえで必要な規範意識を確立させること。 ② 義務教育段階の学習内容を含めた高校生に求められる基礎学力の確実な習得、及び日本語能力の向上に取り組むこと。 ③ 適切な人間関係を形成する力、自分の価値を認識しつつ他者と協働できる力を育成し、自尊感情を高めること。 ④ 文化的なちがいを認め合い、地域社会の構成員として共に生きる力を培うこと。 ⑤ 進路保障や生徒指導の充実のために関係機関との連携を一層強化し、個々の進路希望を実現させること。
	学校運営等	<p>ますます多様化する生徒のニーズや課題に対応するために全教職員の共通理解と関係機関とより連携して、以下の取組を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教職員や生徒、保護者にとって安心安全な教育環境を整えること。 ② 生徒の多様なニーズに応えるため、教職員の指導力、授業力などの向上に努めること。 ③ 分掌や係の仕事を複数の教職員で共有・分担して、チームで業務を遂行することを一層定着させること。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業規律や出席を重んじるとともに、学習意欲を向上させ、安心して登校し落ち着いて学習に取り組むことができるよう生活・学習の両面から支援し、学力の向上を図る。 ② 自他を尊重する人権意識と自己有用感を高め人間関係形成能力を育成する。 ③ 進路保障の充実を図る。特に外国人生徒の進路保障に向けて一層強化する。 ④ 特別支援体制の充実や個に応じた生徒指導を推進するために外部との連携を取りながら効果的な支援体制を構築する。 ⑤ 地域教育力の導入及び生徒が地域や小中学生と交流を行うなど、地域に目を向けさせ、地域に貢献できる人材を育成する。
学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> ① 生徒や保護者にとって安心安全な教育環境を整えるために、適切な情報管理と生徒・保護者のニーズの把握を行う。 ② 生徒・保護者・地域へ教育内容を積極的に情報発信して、定時制生徒への理解と協力を深める。 ③ 生徒の多様なニーズに応えるため、JSLカリキュラムや特別支援教育に関する研修等を推進して、教職員の専門性や指導力の向上を図る。 ④ 生徒の学習意欲や学力向上のために相互参観や研修を行い、授業力向上を推進する。 ⑤ 教職員が充実した業務を行うため、総勤務時間の縮減や職場の環境整備に取り組む。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>① 授業規律の確立、学習意欲の向上、安心して学習に取り組むことができるための生活・学習の両面からの支援、学力の向上のための取り組み (生徒指導) (保健指導) (学習指導)</p>	<p>1) 規範意識の確立 ○活動指標:校内、校外の巡回指導を実施 ○成果指標:問題行動による特別指導件数年間10件以下</p> <p>(2)基本的な生活習慣の確立 ○活動指標:保健だよりによる啓発、年間10回以上 ○成果指標:生活アンケートにおいて、「朝食をとる」50%以上</p> <p>(3)学習意欲の向上・授業を大切にする意識づけのための取組 ○活動指標:校務支援システムによる出欠管理と日常的な出席促進指導を行う ○成果指標:個人面談実施率90%以上 授業の欠席時数、遅刻時数の減少</p> <p>(4) 基礎学力の向上・わかりやすい授業のための工夫 ○活動指標:授業公開・授業改善日を設定し(年間5日)、生徒からの授業評価を行う ○成果指標: ・生徒の授業満足度評価「4」(4段階評価) 70%以上</p> <p>(5)授業規律の確立 ○活動指標: ・非常勤講師も含め、出席・授業態度等の授業規律について教員間で意思統一を図り、全教員で一致して指導を行う ・学びノートの活用と定着 ○成果指標: ・単位修得率 80%以上</p>	<p>(1)生徒指導部の担当のみならず、担任、各教科の職員も定期的に巡回を実施。 特別指導2件</p> <p>(2) 保健だよりを10回発行し啓発したが、7月のアンケートで「朝食をとる」40.2%、12月では44%と目標を下回る。就寝時間の乱れに相関が認められる。 次年度課題。</p> <p>(3)個人面談実施率87% (長期欠席以外全員実施) 授業出席率67%(長期欠席生徒含む)</p> <p>(4)5・10月で5日間実施 「4」57.3% (「3.4」の合計は89.5%)</p> <p>(5)単位修得率 前期85.8% 後期85.3% 通年85.5%</p>	<p>◎</p>

<p>② 自他を尊重する人権意識と自己有用感を高め人間関係形成能力の育成 (人権教育) (生徒指導)</p>	<p>(1) 自他を尊重する人権意識や自己有用感に裏付けられた自尊感情の涵養 ○活動指標:面談による個人相談を年5回実施 ○成果指標:いじめ認知件数3件以下</p> <p>(2)命を大切にする教育の充実 ○活動指標:アンガーマネジメントやセルフコントロールトレーニング・人権を大切にするをテーマにした講演会やワークショップを前期、後期各1回以上実施する。 ○成果指標:生徒アンケート安心・安全満足度85%以上</p> <p>(3) 人間関係形成能力の育成 ○活動指標:なかまづくりを目的とした学校行事を年4回実施 ○成果指標:アンケート調査における満足度 各回とも80%以上</p>	<p>(1)4月、6月、7月に個人面談、10月に三者面談を実施 12月末現在いじめ認知件数1件</p> <p>(2)7月と1月に人権講演会を実施した。</p> <p>(3)体育祭、文化祭等学校行事において、生徒会役員の積極的な取組により、活性化されている。 満足度 92.5%</p>	<p>※</p>
<p>③ 進路保障の充実 (進路指導)</p>	<p>(1) 個々の生徒のニーズに応じた求人開拓 ○活動指標 ・企業訪問および企業説明会での対応企業数 70 社 ○成果指標: ・学校斡旋による就職希望者全員の正規採用の実現 ・卒業予定者の就職希望の求人充足 ○学校斡旋就職者の定着 ・追跡調査を定期的に実施(早期離職などの把握)</p> <p>(2)総合的な学習の時間での実施を主とした進路指導のプログラム化 リアルな職業観・勤労観を育成するキャリア教育(社会人基礎講座)を計画的に実施する ○活動指標:キャリア教育・社会人基礎知識の指導講座、体験型学習等を年間 5回以上実施 ○成果指標:総合学習の満足度 4段階の「4」 60%以上</p> <p>(3)進学希望者の進路実現ための取り組み ○活動指標:進学希望者の進路実現のための受験科目の教科による個別指導の実施 ○成果指標:進学希望者の合格率 100%</p>	<p>(1)対応企業数 81社、学校斡旋による内定者2名、応募前見学済みで受験希望者2名、見学予定者2名。</p> <p>(2)7月の大学・工場見学を含め進路指導関連の総学指導を3回実施した。 満足度調査は実施していない。</p> <p>(3)進学は指定校推薦入試希望者が多い。12月末で進学合格者は4名。 合格率 100%</p>	<p>◎</p>

<p>④ 特別支援体制の充実、個に応じた生徒指導を推進するために、外部との連携や効果的な支援体制の構築(特別支援教育)(生徒指導)</p>	<p>(1)学校の構造化を推進し、教育環境を整えながら合理的配慮の提供方法を検討する ○活動指標:授業担当者会議、ケース会議の開催 ○成果指標:支援を要する生徒の「個別の教育指導計画」100%作成</p> <p>(2)関係機関と連携した生徒指導の充実 ○活動指標:SSWや関係機関との連携による個々の生徒に応じた適切な生徒指導、支援を行う ○成果指標:生徒指導、支援を必要とされる生徒の減少</p>	<p>(1)授業担当者会議・ケース会議を開催。個別の教育指導計画を全員分作成し、個に応じた支援を進めている。</p> <p>(2)校内での情報共有はもちろんのこと、SSW、関係機関との連携を密にして個々の生徒に応じた指導、支援をしている。</p>	<p>◎</p>
<p>⑤ 地域に貢献できる人材を育成するために、外部教育力の導入及び生徒による地域交流(地域連携)</p>	<p>(1)地域人材を活用した講演会やワークショップの実施 ○活動指標:講演会等の月間1回以上の実施</p> <p>○成果指標:生徒の満足度評価「4」 70%以上</p> <p>(2)地域奉仕活動 ○活動指標:地域清掃奉仕活動を年1回実施する ○成果指標:参加生徒数昨年比増</p>	<p>(1)総合学習において多文化理解・人権・進路・生徒指導・保健指導などの分野で外部講師による講演を年間9回実施。満足度調査は実施していない。</p> <p>(2)6月に地域清掃奉仕活動を実施。在籍生徒数が大幅に減っているため、参加生徒を増やせなかった。本年度参加者 81/111名 72.9%</p>	<p>◎</p>

改善課題

- ・教職員の不断の努力によって、生徒は全体として落ち着いた良い雰囲気になっており今後も継続して取り組む。
- ・社会生活を営む上での生活習慣や基本的なマナー、交通マナーを身につけさせる取組を粘り強く続ける。
- ・授業出席率や単位取得率の向上のために、生徒の学習意欲の向上につながる授業改善や校務支援システムによる出欠管理と日常的な出席促進指導の取組を一層推進する。
- ・キャリア教育の課題としては、生徒の自尊感情の確立や社会人として必要な学力・マナー・常識を習得させる。それと並行して関係機関と連携し、定時制への理解を事業所に求めつつ、求人開拓を推進して生徒の進路保障に努める。
- ・外国につながる生徒のみならず、多様な生徒の支援についても体系的な支援体制を構築してきた。引き続き卒業率や卒業後の進路保障に向けた指導を徹底する。

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>① 教職員や生徒、保護者にとって安心安全な教育環境の整備・適切な情報管理。</p> <p>生徒・保護者のニーズの把握、生徒・保護者・地域への情報提供 (情報管理) (サービス遵守)</p>	<p>(1) 生徒・保護者のニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動指標: 生徒・保護者アンケートの実施 年間1回 ○成果指標: アンケート結果の精査 <p>(2) 生徒・保護者・地域への情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動指標: HP・ツイッターで行事等の案内を年5回配信する。 ○成果指標: 生徒・保護者アンケート情報提供満足度80%以上 <p>(3) 学校情報や個人情報の適切な管理・サービス遵守のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動指標: 情報管理状況点検 年間1回実施・コンプライアンス研修 年間1回実施 ○成果指標: 点検結果等 <p>(4) 安全点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動指標 ・年間3～4回以上の実施。 ・外部団体等との連携による安全確認の実施 ○成果指標 ・点検結果 	<p>(1) 12月にアンケートを実施し、「学習指導と学校の設備」の項目で評価が低かった。</p> <p>(2) HPで学校マネジメント、学校行事や授業公開の案内を12回更新した。満足度調査は実施していない。</p> <p>(3) 4月に情報管理状況点検を実施、8月にコンプライアンス研修を実施した。適切に管理している。</p> <p>(4) 夏季・冬季休業中に外部団体による安全確認を実施した。異常なし。</p>	
<p>② JSLカリキュラムや特別支援教育等に関する研修等の推進、資質向上 (研修推進)</p>	<p>(1) 教職員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動指標: 「授業力向上のための研修」、「外国人生徒や特別な支援の必要な生徒を指導する力を向上させるための研修」、「命を大切にする教育を推進するためにアンガーマネジメントやセルフコントロールトレーニング等に関する研修」等年間3回以上実施 ○成果指標: 職員アンケート研修満足度85%以上 	<p>(1) 前期に全定合同で人権研修とコンプライアンス研修を実施。</p> <p>研修満足度 100%</p>	◎
<p>③ 生徒の学習意欲や学力の向上のための、相互参観や研修等教員の授業力向上の推進 (授業改善)</p>	<p>(1) 授業改善・教科指導力の向上のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動指標: 教員の相互参観による「授業見学シート」を活用した相互研修及びアクティブラーニング等授業研修の実施 ○成果指標: 職員アンケート研修満足度85%以上 	<p>(1) 10月に実施した授業公開期間に相互参観を設定した。</p> <p>満足度調査は実施していない。</p>	◎

<p>④ 総勤務時間の縮減や執務環境整備 (職員健康管理) (職場環境改善)</p>	<p>(1)総勤務時間の縮減と環境整備、安心、安全な職場環境づくり</p> <p>○活動指標:</p> <p>①休暇の取得昨年比+1日(H30年度実績 23日)</p> <p>②夏季休業中における学校閉校日の設定2日</p> <p>③会議時間の縮減に向けた取組</p> <p>④パワーハラスメントをはじめとする様々なハラスメントに対する指針の策定及び未然防止対策</p> <p>○成果指標:</p> <p>①職員会議の時間短縮 60分以内で終了する会議の割合 90%</p> <p>②職員満足度の向上</p>	<p>①休暇の取得 25.3日(3/10時点)</p> <p>②8月14、15日に実施した。</p> <p>④「行動計画」を作成し、校長より周知徹底した。</p> <p>①60分以内に終了した会議の割合 46/51回 90.1% (3/10時点)</p> <p>②本年度の職員満足度 86%</p>	<p>◎</p>
--	--	---	----------

改善課題

- ・特別な支援の必要な生徒のために、担当者会議やケース会議などの支援体制により、きめ細かな指導ができています。生徒指導や進路保障においてはSSWや職場定着サポーターの活用など外部機関との連携による指導体制を構築できている。さまざまな課題を持つ生徒が増加しているので、次年度も継続して取組を進める。
- ・飯野高校定時制の学習や学校生活、進路情報や前向きな生徒の様子などのプラス面の具体的な情報を中学生や地域にわかりやすく発信する機会を増やす必要がある。
- ・授業改善等教員研修の機会を充実させ、指導力の向上を図り、生徒の学習意欲を向上させるための取組を一層進める。

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒会行事の生徒満足度の高さから、行事を通じてコミュニケーションが苦手な生徒が人と接することで生徒の成長を感じるとともに生徒会役員による行事内容の充実を感じる。 ●アンケートの実施において、数値だけに捉われると本質的な課題を見逃してしまうことがある。また、作業量が増えてしまうことで働き方改革に結びつかなくなる。 ●外部人材を活用した取組が充実しているのはすばらしい。外部人材を活用した継続的な取組など、一定の成果は出ている。外部人材の活用によって、生徒の支援・成長につながる取組を次年度も継続して推進する。
----------------------------	---

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<p>①授業、総合学習の時間や日常の生徒指導などさまざまな教育活動の中で、基本的なマナーや交通マナーなど社会で生きていくための基礎力を育む。</p> <p>②生徒の学習意欲を向上させるための授業改善と、出席促進指導に引き続き取り組む。また、自分の進路を見すえて努力をする態度を養うため、キャリア教育を一層推進する。</p> <p>③外部教育力を取り入れたキャリア教育の推進と、求人開拓など外部との連携を進めて進路保障に努めるとともに、生徒が将来、社会に出ても困らない教養・学力をつけるための取組を一層進める。</p>
<p>学校運営についての改善策</p>	<p>①中学生や地域に向けて、飯野高校の定時制の特色などの情報を効果的に数多く発信していくよう努める。</p> <p>②授業力の向上、人権教育、キャリア教育などの指導力の向上のための教員研修を充実させる。</p> <p>③生徒の学校生活における満足度について、アンケートを実施するだけでなく、個人面談や日常の学校生活における教員の観察をととして生徒の様子の把握に努める。</p>